

37 大里嘉手志川と金屏風

タロマイ王という王が南山城です。そいでその、水の飢饉の年にね、そこだけは水が豊富にあったもんで、金の屏風を持ってきてそれと交換したというね、その話はよくあります。記録にも残っておりますよね。

金の屏風とそれを交換して。それをもう、中山のほうから井戸を囲って、ここへ絶対、ここから水を取ってはいけないということをいうたもんで、庶民はもう大変なことになったちゆうて、ね。七百年前の尚巴志時代だから。それだから、

「おれに従うものは水を飲ましてあげる」ということで、尚巴志が南山を征伐して、とうとう、金の屏風は貰ったことは貰ったんだけど、井戸は使えないで。水は、庶民は困るでしょう、水は取れないという。水飢饉だから、雨が降らないから。それで、尚巴志に全部、

「おれに付くものは水は自由に飲みなさい」ちゆうて、

とうとうそれじゃ尚巴志に付いて、中山王に全部付いたから、中山王が勝ったわけ。

字糸満 田場天龍

類話

字豊原 国吉マツ

